

第10回

行政区のあり方調査検討特別委員会会議録

- 1 日 時 令和4年3月16日
開会 15時25分 閉会 15時32分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 中橋友子
石川康弘 小田新紀 内山美穂子 藤谷謹至 小島智恵 若山和幸
岡本眞利子 荒貴賀 酒井はやみ 野原恵子 田口廣之 谷口和弥
芳滝仁 千葉幹雄 小川純文 藤原孟
議長 寺林俊幸
- 4 傍聴者 岡田正著 高橋勉 道西義彦 米山一敏
- 5 職務のため出席した議会事務局職員
事務局長 萬谷司 議事課長 半田健 係長 北原正喜
- 6 審査事件 1 行政区のあり方に関する課題について
2 その他
- 7 議事概要 別紙のとおり

行政区のあり方調査検討特別委員会委員長 中橋友子

◇ 内容

(開会 15:25)

○委員長(中橋友子) ただいまから、第10回の行政区のあり方調査検討特別委員会を開催いたします。

本日の議題であります1番の行政区のあり方についてであります。

3月の2日の日の特別委員会におきまして、最終的な報告の案につきまして提案をさせていただきました。

その間、その席で修正の意見もいただきまして、今回はそれを反映して、最終的なまとめという形で皆さんのお手元に配布させていただいております。

この内容でよろしいかどうか。さらにご意見があるかどうか。この報告に対してのまづは意見をいただきたい。このように思います。いかがでしょうか。

芳滝委員。

○委員(芳滝仁) 前回の委員会で文言の整理について、提案させていただいて、役員さん、そして事務局の方で的確に文言の整理をしていただいていることで、この5つの申し出について、了解をするところであります。

委員の方々もとより、役員の方々、これまでご努力いただきましたことに敬意を表したいと思うところがございます。

前回も申し上げましたが、1のところを制度というものを省いたということで枠が広がったと思います。

行く行くは、今まで113の行政区ではなくて、コミュニティや防災のいろいろな形のできる行政区というものの将来を考えていかななくてはいけないのであろうと。

例えば、桂町なら3町内会があって、桂町の行政区だという形で、公区で行政区等が回り番をしていくというような形で、よりコミュニティが進んでいくような行政区という制度ではなくて、行政区という考え方が残されたのだらうと評価するところあります。

あと、広報の配布とそれに絡んで行政区運営費のあり方についても改善ということで、申し出をしているところではありますが、行政区運営費につきましては、これは令和元年の決算なのですけれども、2,077万9千円あります。

予算が計上されるころでは、2,180万8千円。ほとんど変わらない金額になっております。ということは、中身もおそらく変わらないのであろうと。

その中身は令和元年には公区長報酬が1,109万8,600円。公区運営費が968万400円ということで、おそらく中身もあまり変わらない形で計上をされているのであろうということあります。

多額の公区費、今では公区長の活動費でありますけれども、支払いされているのですけれども、800を超える広報が配られていないという現状があって、一番公区長代表者がきちっとしなくてはならない広報の配布ということが、きちっとされていないということで、この運営費のあり方について、やはり広報の配布を含めて考えていかなければならないのであろうということ、こういう形で報告書にあげていただいていることは、正しいと思うところであります。

そして、このところで問題になっていきます町内会費を納めないところには広報を配ら

ない、回覧板も回らないというような現状があるわけで、町内会費を集めていることが余計に分断を招いているという現状があるわけです。

そういうことも含めて、行政区運営費の今後の使用については、検討いただきたいという中身もそういうことでこの広報紙のあり方、そして行政区運営費のあり方については、こうして入れていただいて、方向性を示していただいているのだなと思うことであります。

議会でありますから、具体的なことは町の方には申し上げられないわけではありますが、基本的な方向性としてこういう形を出していただくということは、今のところこの報告書で良いのであろうと私は考えるところであります。

以上です。

○委員長（中橋友子） ほかにご意見ございますか。よろしいでしょうか。

（よいの声あり）

○委員長（中橋友子） ただいまの芳滝委員のご意見もこの報告書のまとめの上にさらに今後の課題としてのご発言であったかと思えます。

そういった発言も活かされる形での報告書であるべきだと思ひ、そういうことも念頭においてまとめをさせていただいたところです。

ほかにご意見がなければ、この内容で終結をさせていただきたいと思ひますが、皆さんよろしいでしょうか。

（よいの声あり）

○委員長（中橋友子） ありがとうございます。

それでは、2番のその他に入らせていただきます。

皆さんの方から何かございますか。

（なしの声あり）

○委員長（中橋友子） わかりました。

それでは、以上を持って終了とさせていただきます。

終了にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

この公区のあり方調査検討特別委員会につきましては、令和元年の12月、もっと、正せば11月に町づくりのことにつきましては、住みよいまちづくりを考える会の皆さんから陳情書があげられたことから始まりました。

その後、特別委員会が設置されまして、10回に渡って委員会での議論を重ねることができました。

最終的な報告も皆さん全員でご了承をいただいたこと、本当に嬉しく思います。

この間のご協力とこの結果が町づくりに反映されるように願ひ、終了のご挨拶とさせていただきます。

大変、ありがとうございます。（拍手）

以上を持って、終了させていただきます。

（閉会 15：32）